

# 平成 30 年度ダイオキシン類環境モニタリング調査結果について

令和元年 12 月

岩手県環境生活部環境保全課

## 1 調査結果の概要

県では、毎年、ダイオキシン類対策特別措置法第 27 条第 1 項に基づき、県内の大気、公共用水域、地下水及び土壌について、ダイオキシン類による汚染の状況を調査しています。

平成 30 年度の調査結果は次の表のとおりであり、**全ての地点で環境基準を達成しました。**

調査対象		調査 地点数	調査 回数	調査結果 (濃度分布)	環境基準	単位※1
大気環境	一般環境	5 地点	年 4 回※3	0.0037～0.011	0.6 以下 (年平均値)	pg-TEQ/m <sup>3</sup>
	沿道	1 地点		0.0056		
	発生源周辺※2	4 地点		0.0032～0.016		
公共用水域	水質	40 地点	年 1 回	0.034～0.092	1 以下	pg-TEQ/L
	底質	40 地点		0.16～2.9	150 以下	pg-TEQ/g
地下水		7 地点		0.033～0.035	1 以下	pg-TEQ/L
土壌	一般環境	7 地点		0.0021～8.5	1,000 以下	pg-TEQ/g
	発生源周辺※2	45 地点	0.0021～94			

※1 単位の「pg(ピコグラム)」は1兆分の1グラムを意味し、「TEQ」は測定されたダイオキシン類を、ダイオキシン類の中で最も毒性が強いとされる 2, 3, 7, 8- 四塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシンの毒性に換算した量（「毒性等量」という）。

※2 本県の主な発生源は、廃棄物焼却施設。

※3 一般環境 3 地点及び発生源周辺 2 地点については、採取試料の不良により、秋季欠測。

## 2 今後の対応

令和元年度も調査を継続中であり、今後も調査を実施していきます。

表1 環境大気中のダイオキシン類の調査結果

(大気環境基準 : 0.6pg-TEQ/m<sup>3</sup>以下)

区 分	調査地点	ダイオキシン類毒性等量濃度 (pg-TEQ/m <sup>3</sup> )				
		年平均値	春季	夏季	秋季	冬季
一般環境 (一般的住居地域)	盛岡市津志田 <sup>※1</sup>	0.011	0.0073	0.0075	0.0095	0.019
	北上市芳町	0.0043	0.0035	0.0072	- <sup>※2</sup>	0.0021
	大船渡市猪川町	0.0048	0.0040	0.0061	0.0070	0.0020
	宮古市横町	0.0046	0.0032	0.0089	- <sup>※2</sup>	0.0018
	二戸市荷渡	0.0037	0.0037	0.0057	- <sup>※2</sup>	0.0017
沿 道	一関市三反田	0.0056	0.0043	0.0052	0.011	0.0018
発生源周辺 (廃棄物焼却炉 の周辺地域)	盛岡市東見前 <sup>※1</sup>	0.016	0.0074	0.0060	0.0063	0.044
	北上市相去町	0.0032	0.0035	0.0041	- <sup>※2</sup>	0.0020
	一関市千厩町千厩	0.0056	0.0035	0.0068	0.010	0.0019
	八幡平市平舘	0.0045	0.0054	0.0062	- <sup>※2</sup>	0.0018

※1 盛岡市が測定を実施。

※2 試料採取に不具合があったため欠測。

図1 平成30年度ダイオキシシン類（環境大気）モニタリング調査地点

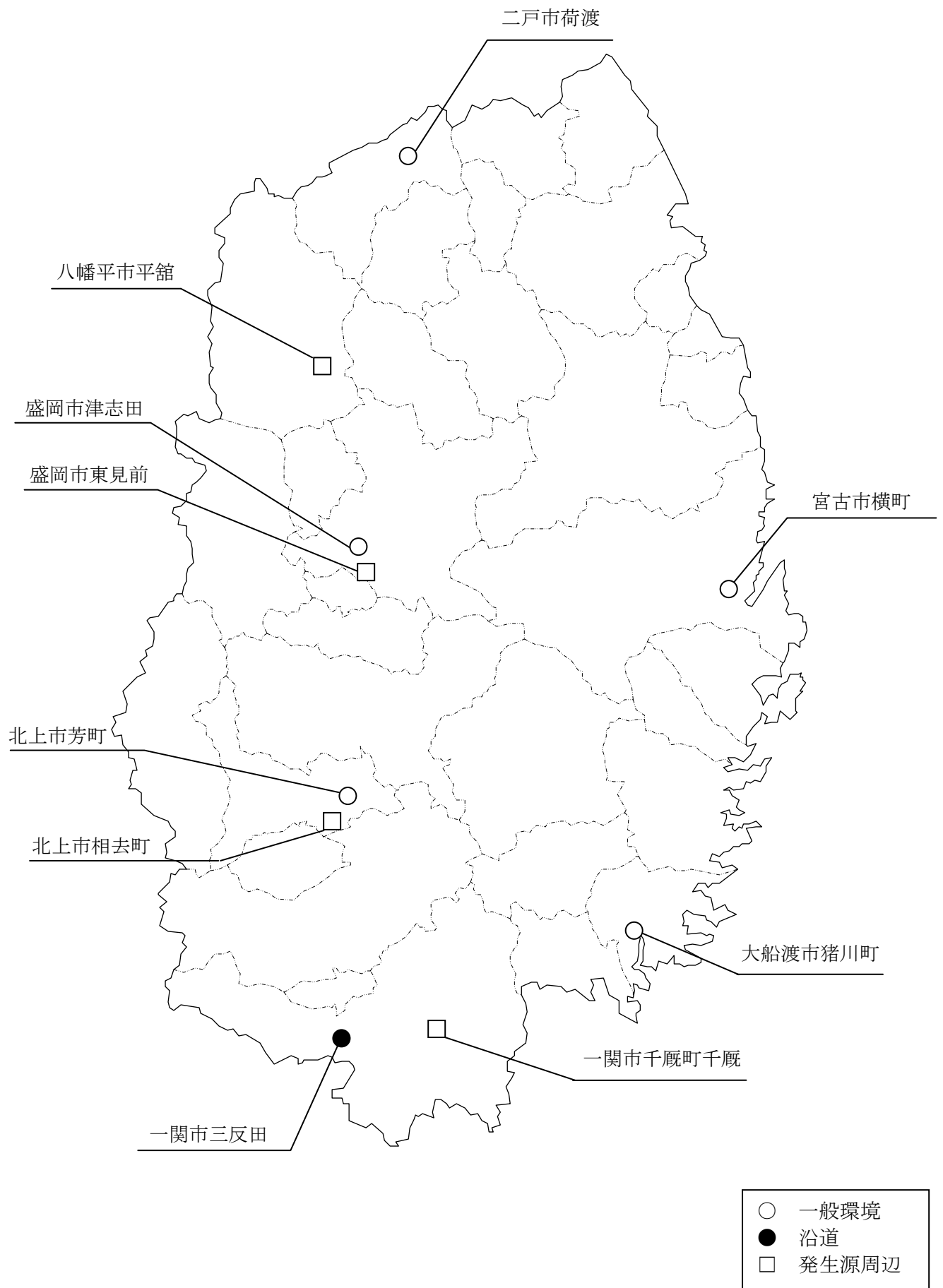


表2 公共用水域のダイオキシン類の調査結果

(環境基準：水質 1 pg-TEQ/L 以下、底質 150pg-TEQ/g 以下)

区分	調査地点		毒性等量濃度		調査地点		毒性等量濃度	
	水域名	地点名	水質	底質	水域名	地点名	水質	底質
河川	雫石川上流葛根田川	葛根田橋	0.038	0.17	遠別川	向渡橋	0.034	0.17
	雫石川上流南川	矢川橋	0.038	0.18	高桧沢	薬師川合流直前	0.034	0.16
	矢櫃川	九十九沢合流点	0.039	0.17	閉伊川下流	宮古橋	0.083	0.70
	上黒沢	高松2号橋	0.039	0.18	甲子川	矢の浦橋	0.044	0.96
	滝名川	滝名川橋	0.048	0.21	米代川	県境堰堤	0.034	0.20
	稗貫川	稗貫川橋	0.044	0.19	北上川(1)	岩崎橋	0.036	0.17
	豊沢川下流	桜橋	0.062	0.19	和賀川中流	広表橋	0.043	0.18
	猿ヶ石川	安野橋	0.060	0.27	伊出川	森大橋	0.048	0.19
	廻戸川	ごみ焼却場2km上流	0.034	0.17	久保川	赤子橋	0.058	0.40
	宿内川	宿内橋	0.092	0.74	砂鉄川	生出橋	0.035	0.16
	胆沢川下流	再巡橋	0.038	0.19	大川	宮城県境	0.046	0.18
	金流川	天神橋	0.081	0.48	瀬月内川	大向橋	0.043	2.1
	千厩川上流	久伝橋	0.047	0.18	夏井川	旧夏井橋	0.037	0.92
	千厩川下流	松形橋	0.044	0.18	中津川中流 ※1	水道橋	0.035	0.18
	千厩川下流	水門	0.046	0.19	中津川中流 ※1	落合橋	0.034	0.18
	盛川下流	佐野橋	0.039	0.16	乙部川 ※1	乙部橋	0.040	0.20
	馬淵川上流	府金橋	0.037	0.27	雫石川下流 ※1	諸葛橋	0.038	0.21
	久慈川下流	湊橋	0.035	1.0	北上川(4) ※2	北上川橋	0.070	2.8
湖沼	田瀬ダム貯水池 ※2		0.067	2.5	四十四田ダム ※2		0.068	2.9
海域	宮古湾	S-6	0.034	0.57	釜石湾(甲)	S-15	0.044	2.3

注) 水質に係る濃度の単位は pg-TEQ/L、底質に係る濃度は pg-TEQ/g

※1 盛岡市が測定を実施

※2 国土交通省東北地方整備局が測定を実施

図2 平成30年度ダイオキシシン類（公共用水域）モニタリング調査地点

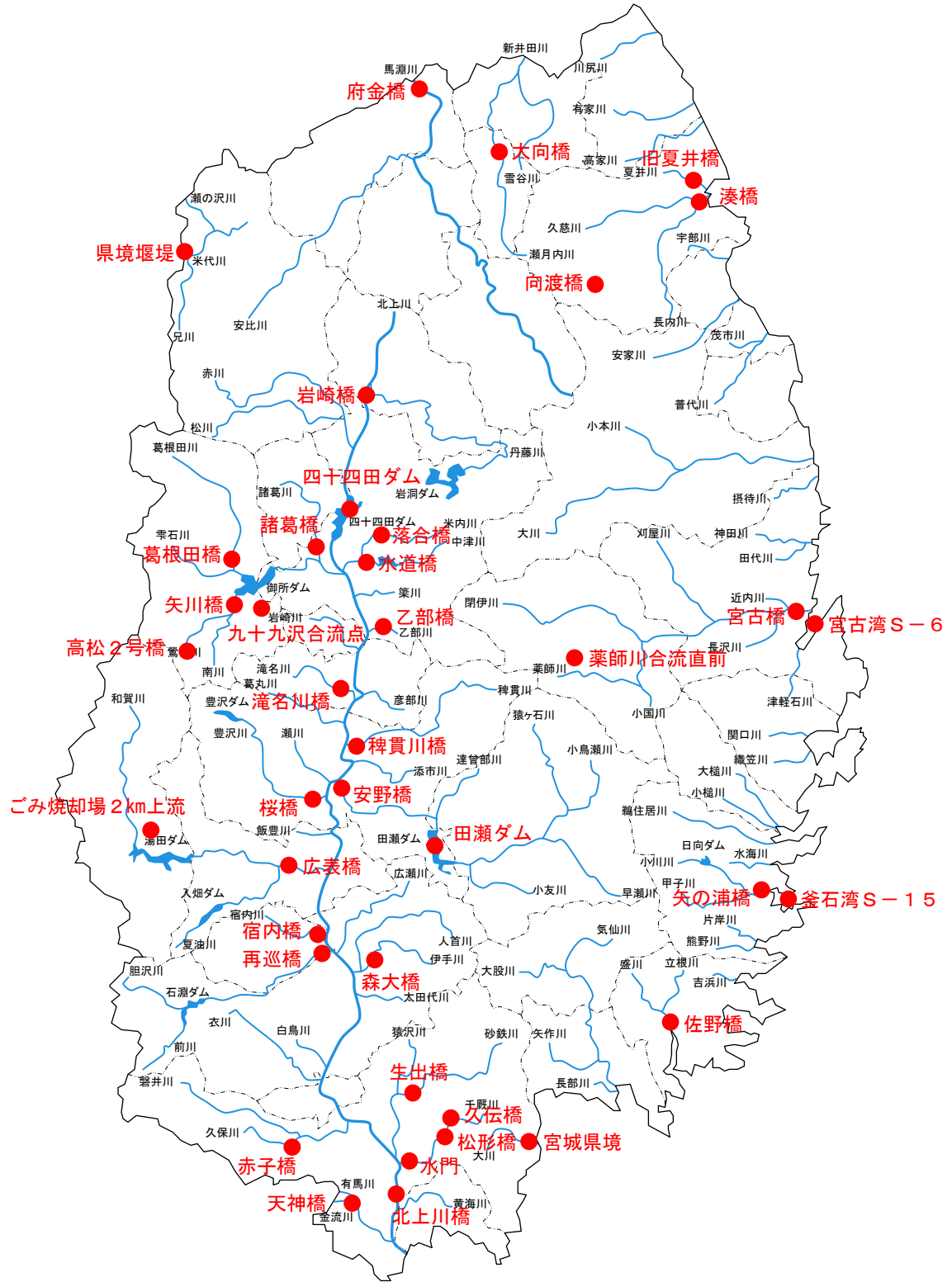


表3 地下水のダイオキシン類の調査結果

(水質環境基準：1 pg-TEQ/L 以下)

調査地点	毒性等量濃度
北上市滑田	0.033
久慈市川井	0.033
釜石市両石町	0.034
滝沢市穴口	0.034
山田町荒川	0.034
軽米町晴山	0.035
盛岡市川目*	0.033

備考) 濃度の単位は pg-TEQ/L

※ 盛岡市が測定を実施

図3 平成30年度ダイオキシン類（地下水）モニタリング調査地点

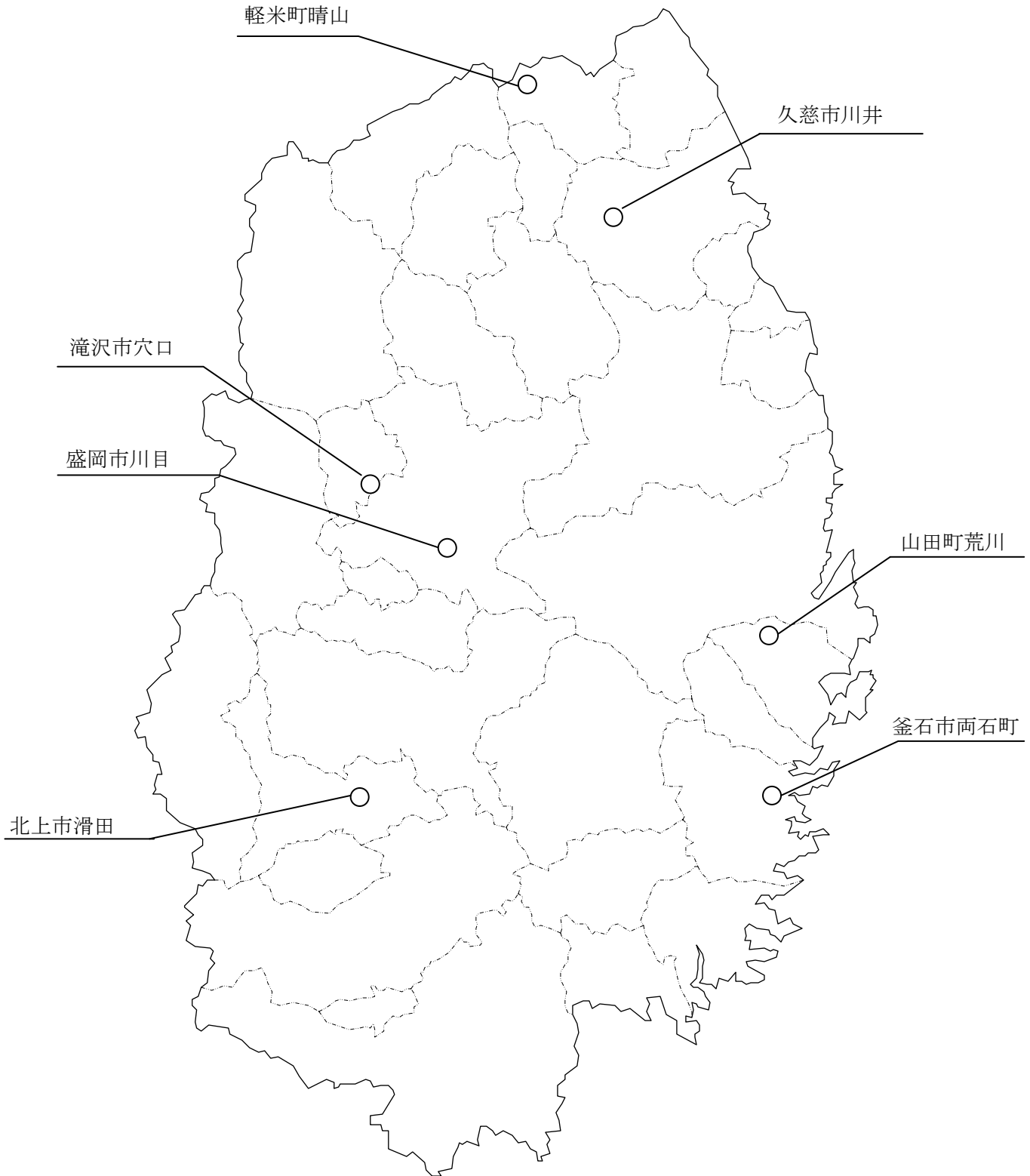


表4 土壌のダイオキシン類の調査結果

(土壌環境基準：1,000pg-TEQ/g以下)

区分	調査地点	毒性等量濃度	区分	調査地点	毒性等量濃度
一般環境	遠野市綾織町	0.0021	発生源周辺	C-1 雫石町七ツ森	5.7
	一関市竹山町	0.13		C-2 雫石町七ツ森	40
	葛巻町葛巻	8.5		C-3 雫石町七ツ森	3.2
	住田町下有住	3.2		C-4 雫石町七ツ森	7.8
	普代村宇留部	0.046		C-5 雫石町七ツ森	3.6
	一戸町西法寺	0.074		C-6 雫石町七ツ森	3.4
	盛岡市西見前	0.034		C-7 雫石町笹森	4.3
発生源周辺	A-1 宮古市千徳町	1.3		C-8 雫石町笹森	21
	A-2 宮古市千徳	0.20		C-9 雫石町七ツ森	1.8
	A-3 宮古市西ヶ丘	0.0021		D-1 金ヶ崎町西根	1.1
	A-4 宮古市近内	0.0025		D-2 金ヶ崎町西根	2.5
	A-5 宮古市千徳町	0.36		D-3 奥州市水沢佐倉河	2.0
	A-6 宮古市長町	0.029		D-4 奥州市水沢佐倉河	0.97
	A-7 宮古市松山	0.073		D-5 金ヶ崎町西根	8.2
	A-8 宮古市八木沢	0.045		D-6 奥州市水沢佐倉河	3.8
	A-9 宮古市小山田	0.026		D-7 金ヶ崎町西根	3.1
	B-1 一関市千厩町奥玉	0.066		D-8 金ヶ崎町西根	11
	B-2 一関市千厩町奥玉	0.87		D-9 奥州市水沢佐倉河	94
	B-3 一関市千厩町奥玉	0.055		E-1 盛岡市手代森※	10
	B-4 一関市千厩町奥玉	0.79		E-2 盛岡市東見前※	4.4
	B-5 一関市千厩町奥玉	0.0030		E-3 盛岡市三本柳※	9.6
	B-6 一関市千厩町奥玉	3.0	E-4 盛岡市門※	0.90	
	B-7 一関市大東町摺沢	0.48	E-5 盛岡市東見前※	3.2	
	B-8 一関市大東町摺沢	0.89	E-6 盛岡市手代森※	0.85	
	B-9 一関市千厩町千厩	0.063	E-7 盛岡市西見前※	3.7	
			E-8 盛岡市東見前※	7.5	
		E-9 盛岡市黒川※	3.8		

備考) 濃度の単位は pg-TEQ/g

※ 盛岡市が測定を実施



図4 平成30年度ダイオキシン類（土壌）モニタリング調査地点

